事業評価票(監査結果に基づき見直しを図る事業)

			実 施 查 種		平成 財政援			
指摘・意見等の概要	・霊園管理システムを用いて発行された領収証等には連をしているが、取消処理を行うと領収証発行の履歴が消か印刷前の取消かの判別ができなくなっている。こ保管書類と一致していることを保証できない状況とな・局は、収納事務が適正かつ効率的に行えるよう、事務たい。	残らた のこと つてV	ないた。 こにより いる。	か、領の、実	収証印 際の収	刷後 納状	の取 況が	
見 積 概 要 (局評価)	・システム中間改修に合わせて、領収書発行の仕様を改 1 領収証取消処理を実施した際、履歴が残るように 2 領収証発行の誤操作を防止するため、確認画面を 3 システムに情報がない利用者についてもシステム 等を発行して連番管理できるようにする 4 システムにおいて徴収額報告書と同様に、年度ご カウントできるようにする	する 表示さ から	させる質収証		28年度 5,5 2 <mark>7年度</mark>	507 予算 額	千円	
財務局評価	・局の見積概要は監査指摘の主旨を踏まえ、領収書発行の仕様を改善しており、必要性が認められるため、見積額のとおり計上する。				妥当見直しその他28年度予算額5,507 千円			
監査事務局 · 行革推進部	・局の見積概要は、監査指摘の趣旨に沿ったものであり 善措置が講じられることが期待されるが、今後、シス 結果を確認する必要がある。				整不整	合)	

6	環境衛生管理			実施 全	F 度 別	平成 27 定例		
指摘·	・意見等の概要	・実地検査において、学校で2か月に1回実施する空気 ん計の較正ができなかったこと等から、近隣校からの 見受けられた。この状況を見ると、粉じん計を空気環 る必要性はなく、近隣校からの借入れで対応すること ・今後、修繕・買替えの必要が生じた学校から順次、複 同利用させるなど、粉じん計の取扱いについて見直さ	借入れ 境測気 が 数校	により定実施対を組み合	対応 象校。	している。 の全てに	事例が 配置す	
-	, 積 概 要 (局評価)	 ・粉じん計は、毎年度較正を行う必要があるが、専門業者による較正時に、当該粉じん計の較正や修理の可否が判明することから、現時点で見込みを立てることは難しい。 ・今後、粉じん計の較正や修理が不能となった学校が出た場合、当該校の事務体制、近隣校の状況等を個別に判断し、共同利用が可能か検討したうえで、適切に予算を見積もっていく。 			28年度見積額 89,535 千円 27年度予算額 88,463 千円			
郥	財務局評価 ・指摘を受け、実態を踏まえた見直しが図られていること 積額のとおり計上する。		とから	ò、見	2	受当 見直し その他 8年度予算 89,535	草額	

監査事務局	・局の見積概要は、監査指摘の趣旨に沿ったものであり、適切な改	整合
•	善措置が講じられることが期待されるが、今後、検討結果を確認	不整合
行革推進部	する必要がある。	その他